



安原工業団地協同組合 会報

2009.3
第6号

発行 ■ 安原工業団地協同組合 〒920-0377 金沢市打木町東1400番地(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411 FAX (076) 240-1903



『組合の新たな取り組みを 不況克服の一助に』

組合員の積極的な活用を期待 ——

安原工業団地協同組合

副理事長 大 平 邦 久

「世界同時不況」「百年に一度の大恐慌」などセンセーショナルな見出しばかりが目につきます。事実、昨年の特に後半から自動車や電機産業を中心に急激に景気が悪化し、殆どの産業に拡大してきました。膨大な赤字に転落する企業、大規模な人員削減など大きな社会問題となっています。

安原工業団地でもその大波をもろに被り受注減や資金繰りに苦勞する企業が大幅に増えているようです。行き来する車が少なくなり、残業もないため夜は多くの工場が消灯され何となく活気が薄れているように感じます。

組合としても状況を的確に把握したいと、「企業経営動向に関するアンケート調査」を繰り上げて実施し集計を行い、結果を既に各企業に配布致しました。概要は前年に比べ予想通り売上高・採算性・操業度・資金繰りなど全てが大幅なマイナスとなっており、受注残・今後の受注見通しも大半が悪化と回答されています。

しかし不況を嘆いてばかりいても事態が良くなるはずありません。自分達の力で少しでも状況を改善しようということで、理事会でも現状に対処するための新たな取組みについて活発な議論が交わされ、アンケート調査でも組合としての何らかの対応を期待する声が多くあったことをふまえ、緊急の対応策として二つの企画を実施することと致しました。

一つ目は、「金融・雇用対策の各施策説明会の開催」で、石川労働局、石川県、金沢市から助成制度や制度金融、雇用施策について説明を受け、また社会保険労務士から申請実務のアドバイスを受けようというもので、金沢市工業団地連絡協議会にも呼びかけ、共催事業として平成21年2月13日(金)に金沢市異業種研修会館で実施され多くの企業からの参加をいただき良い成果を上げることができました。

二つ目は「安原工業団地組合員相互受発注拡大計画」です。全国的にも極めて特異な異業種工業団地としてのメリットを生かすため、物資購入、外注加工、リサイクル処理など様々な取引を団地内企業相互で行うことから少しでも組合員にプラスになればということです。そのためには各企業がどのような仕事をしているのかを知る必要があります、その対策として組合事務局に会社概要や事業内容を詳しく記入した「安原工業団地受注・発注概要カード」を備え付け、組合員がいつでも自由に閲覧できるように便宜を計らい、結果として組合員相互の受発注の拡大に繋がることを期待しています。

この不況が急激に回復することは望めない状況の中で、組合員企業ができる限り体力を維持し、苦しい状況を乗り切り、好景気を呼び寄せるための努力を支援してゆくことが組合の使命でもありますので、今後も更なる活性化策を模索し提案してゆきたいと考えています。組合員の皆様の積極的な活用をお願い致します。

初の組合員交流会を開催する

初の企画として平成20年10月17日(金)に組合員70名が参加して、福増町「ヴィラグランディスウェディングリゾート」にて行いました。冒頭挨拶で、米澤卓也理事長は、組合員間の交流を図る場を造り多くの方との信頼関係を築き、なにかお互いに来る仕事や、新商品、新技術開発等を話し合う中で、新たなグループ結成等の芽生えに繋がらないかと、この企画を始めた趣旨を述べられました。

次に、金沢市異業種研修会館長の松村文夫氏に「科学技術と世相 50年の回顧とこれから」と題しまして、戦後からの半世紀をまとめられた世界史と日本の出来事の連動を一覧にした資料を全員に配布し、ご講演して頂きました。

また、ご自身の健康法や平成10年頃から始めたという、国内の旧街道を徒歩で旅し顔や手、腕が半分だけ日焼けし真っ黒になった等エピソードも話され会場内はリラックスした雰囲気でした。

それから、松村館長さんも交えての懇親・交流会に移り、大平邦久副理事長の乾杯の発声で宴席が始まり、各テーブルでは料理に舌鼓をうちながらの懇談となりそれぞれお隣さんとの話しも弾み、またテーブル間を越えてほろ酔い気分でお酒やビール等を酌み交わし昨今話題を論じたり、また事務局の女性達からの写真撮影「ハイ写しますよ パチリ」にも気軽に応じたり、笑ったりで、リラックスした雰囲気でした。池田秀樹理事が中締めを行い閉会となりました。

今後も、この「組合員交流会」の趣旨を理解し、青年部や女性部もどんどん交えて発展させ会場を毎回、変えながら長く続く交流会にしたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。



平成20年度臨時総会 開催される



山田 泉 氏



大和義廣 氏

平成21年2月16日(月)、午後1時より金沢市異業種研修会館にて組合員201社中、140社（委任状を含む）の参加で開催されました。

冒頭に米澤卓也理事長より挨拶があり、塚本一樹副理事長が議長に選任されました。議案は監事選任の件のみで、組合定款第25条役員の定数は監事2人または3人という規定がある旨を述べ、役員の選挙は指名推薦とし、選考委員の選出方法を議長一任と決定した。

議長は、選考委員に池田秀樹、紙本敬章、中村俊彦の3氏を指名し、選考委員は別室において役員（監事）の選考に入った。

再開後、中村俊彦選考委員長より、監事候補者として山田泉氏(株)感動ハウス代表取締役、大和 義廣氏サンユー精密(株)代表取締役が推薦され、満場一致で決定いたしました。

金融・雇用対策説明会に 高い関心

厳しい経済状況のもとで少しでも経営に役立ててもらおうということで、当組合が緊急に金沢市工業団地連絡協議会に呼びかけ共催で企画した「金融・雇用対策の各施策説明会」は平成21年2月13日(金)に金沢市異業種研修会館で開催され、各企業の関心も高く75社（当組合からは35社）が参加しました。

始めに石川労働局から雇用維持関係制度のうち中小企業緊急雇用安定助成金等について、次いで石川県からは制度金融のうち緊急経営安定支援融資の創設、通常の支援策の拡充等について、更に金沢市からは市融資制度、雇用施策等について、それぞれ資料を配布しての詳しい説明がなされ、参加者も熱心に内容に聞き入り不況克服への意気込みが感じられました。

説明会の後、社会保険労務士から実際の申請手続きについてアドバイスもあり大きな成果をあげて終了しました。



訃報 塚本監事逝去

病氣療養中の塚本舜当組合監事（前副理事長）は平成20年11月18日(火)逝去されました。

町会長の後、組合設立に関わり平成7年、設立と同時に理事、平成18年より副理事長、平成20年より監事を歴任し組合に多大な貢献をされました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

金沢市工業団地連絡協議会・安原工業団地協同組合、合同視察研修旅行 「滋賀・京都ものづくりと京文化にふれあう旅」

平成20年度合同の研修旅行が11月7日(金)～8日(土)にかけて滋賀県・京都府両府県視察として行なわれました。

全参加者約30名中、当組合からは、米沢理事長以下10名が参加しました。

1日目午前中は、滋賀県にて滋賀県立長浜ドームで開催中の「びわ湖環境ビジネスメッセ2008」を見学しました。広い会場いっぱいに『環境』をテーマとした総合見本市で、約250社400ブースに圧倒された感がありました。

午後は京都府に入り、大日本スクリーン製造、久御山事業所を見学しました。ここでは、最新鋭の印刷関連機械を開発、展示、製造しており、超大型ポスターや看板等の印刷（プリンティング）や一枚毎に異なるカラー印刷を高速でこなすオンデマンド印刷機等、目を見張るものばかりでした。

その後、京都市内で全員そろっての夕食と共に懇親の場を持つ事ができました。2日目は、午前中左京区にある「京都市伝統産業ふれあい館」視察、午後は「宇治市源氏物語ミュージアム」見学と続いた。2館とも建物は新しいけれども、展示物やその内容においては、伝統産業文化等の奥深さを体験できた一日でした。



2日間を通じ、新しい事業にとり組む企業群と古い文化を大切に受け継いでいく事の大切さを新らためて感じた研修旅行でした。

2日間を通じ、新しい事業にとり組む企業群と古い文化を大切に受け継いでいく事の大切さを新らためて感じた研修旅行でした。

文化講演会 「安原の歴史・地域住民も多数来場」

平成20年11月13日(木)金沢市異業種研修会館において、平成20年度文化講演会を、今年は初の試みとして、地域に根差した組合活動の推進を目指し、安原地区町会連合会等各種団体にも呼びかけで開催し、約120名の参加をいただきました。



米澤卓也理事長の挨拶の後、「安原の近代史」と題しまして講師としてお招きした石川県立歴史博物館学芸専門員の本康宏史氏からお話をいただきました。

安原の歴史と風土の検証を、古地図を交えて弥生、鎌倉、江戸時代と話は進み明治の上安原村の高田久兵衛の全国に先駆けて大事業であった田区改正を苦難の末、成し遂げられ、今日の安原の大変貌に至っていると締めくくられた。

新年懇親会 今年も大盛会

初春恒例の組合・町会合同新年懇親会は平成21年1月6日(火)午後7時から金沢都ホテルを会場に64名が出席して開催されました。

山岸春美副理事長の軽妙な司会で始まり、大正琴サークル「ラビアン・ローズ」が演奏を披露し華やかな雰囲気が盛り上がるなか、米澤卓也組合理事長、堀田鉄雄町会長が開会の挨拶を述べ、来賓として金沢市長代理羽場利夫産業局長、下澤佳充県議会議員、井沢義武市議会議員より祝辞を戴きました。

中川伊佐夫安原地区町会連合会長の乾杯の発声で宴席は一気に和やかになり、あちこちで賑やかな談笑風景が見られました。最後に越野英司次期町会長が中締めを行い楽しい会はお開きとなりました。



『水野さんおめでとう』 巧の技職人に選ばれる

市が選定する今年度の「巧の技職人」に当組合理事水野康彦氏（㈱フスマ北陸代表取締役）が他の4氏とともに選ばれ、平成21年1月30日(金)に市役所で表彰式が行われ、市長から表彰状が手渡されました。



水野さんは永年、表具・襖の製造や修理を手掛けられ、自身の高い技術とともに日頃から若手職人を指導し後継者の養成にも熱心に取り組んでいることが評価され今回の表彰となりました。

第29回安原工業団地協同組合 ソフトボール大会を開催

安原工業団地協同組合主催（町会協賛）の第29回ソフトボール大会が平成20年9月7日(日)、安原小学校グラウンドにおいて開催されました。

当日は18チームが参加して、「スポーツの秋」を満喫することが出来ました。決勝では(株)金石製作所が接戦を制して10対9で2・3・4班に勝利しました。組合員同士の親交を深めた1日でした。

なお、成績は下記の通りです。

優勝 (株)金石製作所 準優勝 2・3・4班

3位 (株)角谷商店 3位 ハイテクス工業(株)

選手、応援の方及び運営にご協力下さいました青年部の皆様、暑い中お疲れ様でした。

青年部

20年度下半期の活動報告

9月7日(日)

「第29回安原工業団地ソフトボール大会」

準備、運営に参加させて頂きました。

10月24日(金)

「加賀野菜 源助大根収穫祭」

本年度も安原保育園の園児たちと楽しく大根の収穫をすることが出来、お礼状もいただきました。

また、収穫した大根を組合の皆さんにもお裾分けし、喜んで頂きたいのではないかと思います。昨年よりわずかながら有料とさせて頂いています。

来年度も行う予定ですので、ご理解とご協力を宜しくお願いします。



11月14日(金)～15日(土)

「北海道視察旅行」

毎年行っている事業の一つです。

今年度は11名の参加を頂き、札幌市、小樽市の概況を知ることができました。又、サッポロビールの工場視察をさせて頂き、夜には工場内レストランにて懇親会を開き、親睦を深めることが出来ました。

2月13日(金)

「新年会」

参加部員13名で19時より、「海鮮居酒屋 はなの舞」にて青年部新年会を開催いたしました。昨今の厳しい経済情勢の中、今後の先行きや、会社の取り組み等、情報交換の場として有意義な会となりました。

本年度の青年部の事業はすべて無事終えることができました。

組合の皆様のご理解、ご協力のお陰と感謝しております。来年度も宜しくお願いいたします。

女性部

20年度下半期の活動報告

10月24(金)、25日(土)レディース中央会全国フォーラムin岐阜に女性部より4名参加しました。

会場は岐阜グランドホテル。前には長良川が流れ頭上に金華山が望まれました。最初に基調講演を陶芸家加藤幸兵衛氏(幸兵衛窯7代目当主)◎土のローカル性と陶芸家◎土からスタートした私達の身体(肉体・精神)についてお話しをしてくださいました。

事例講演は「逆風の中で頑張る組合・企業」をテーマに岐阜県菓子工業組合。◎提案箱の設置。◎女性ばかりの製造社員に創作お菓子へのチャレンジ。

次に本陣平野家花兆庵の女将は売りは◎お客様へのもてなしの心が大事と話されていました。

そして関金属工業組合では「モノづくりアカデミー」を開き展示会などされているそうです。

また今年度の研修会は9月21日(日)能登沖地震復興に一役立てればと輪島漆器資料館、キリコ会館・総持寺、輪島の朝市等見学を行ないました。21年2月10日(火)には2回目研修会をヴィラグランディスウェーデンリゾートにて身近に幅広く活躍されている山岸春美さん、米澤祥子さん、浅井芙美子さんにミニ講演を頂き自己研鑽の場として好評にて終了しました。



キリコ会館で講演する藤平朝雄先生



第2回研修会

女性部事業の一つ緑化推進は今年度より、6月、11月、3月の3回緑と花の課より花の苗を頂けることとなりました。引き続き協力の程よろしくお願い致します。

あ と が き

100年に一度の大不況。

仕事人間にとっては辛い空き時間です。今までと違う事は、自分の時間が増えた事。その時間を大切に上手く使う事が、この不況を乗り切るカギかも。

何か見えてくるかもしれません。

発行責任者 米澤 卓也

編集委員 相川外志子、岩上 伸人、大平 邦久

紙本 敬章、北村 直樹、越野 英司

田中 泰、入口 吉男、山口美枝子